

令和7年度明治杯全日本選抜レスリング選手権大会



明治杯 6階級制覇

令和7年6月19日(木)から22日(日)までの間、東京体育館(東京都渋谷区)において「令和7年度明治杯全日本選抜レスリング選手権大会」が開催された。本校からは古市雅子(ふるいちまさこ)2等陸尉以下32名(フリースタイル12名、グレコローマン12名、女子レスリング8名)が出場した。

本大会は、2025世界選手権の代表選考を兼ねており、2024年12月に実施された天皇杯及び今大会での優勝者が各階級の代表となる。2大会の優勝者が異なる場合、各日全試合終了後それぞれの優勝者によるプレーオフを行い、勝者が本年9月にクロアチア・ザグレブで開催される世界選手権の代表となる。レスリング班からは、6階級で優勝の成果を納め、6名が世界選手権代表権を獲得した。

《フリースタイル 86kg級》



世界選手権代表権獲得
フリースタイル 86kg級
3等陸尉 石黒 隼士

石黒隼士(いしぐろはやと)3等陸尉は、出場者5名のノルディック方式の総当たりで行われた4試合で全勝し優勝を決めた。

プレーオフは今大会の最終戦(4戦目)と同じTeamSSPの白井選手との対戦となった。世界選手権の代表をかけた試合は開始23秒、持ち前のスピードで相手のバックを取りテイクダウンを奪うと相手の抵抗をもろともせずローリングでポイントを重ね、開始わずか54秒で100のテクニカルスペリオリティで勝利し、世界選手権の代表権を獲得した。試合後、石黒3尉は「まずは安心した。世界選手権では勝ち切ることで進化した自分を見せたい。」と世界選手権に向け意気込みを語った。

《フリースタイル 125g級》

山本泰輝(やまもとたいき)2等陸曹は、ノルディック方式の予選を順当に勝ち上がり、準決勝では日本大学の藤田選手に44(同点の場合はピックポイントをあげた方の勝利)の接戦を制した。決勝では伊藤飛未来(いとうひびき)2等陸曹との同門対決となった。互いに手の内を知り尽くしているため、均衡した試合展開であったが、第1ピリオドでは伊藤2曹のステップアウト及びパッシブにより山本2曹が2ポイントを先取した。第2ピリオドでは山本2曹のステップアウトで伊藤2曹が1ポイントを返したが反撃もここまで。21で山本2曹が優勝を決め、世界選手権の代表権を獲得した。試合後、山本2曹は「全力を尽くし優勝することができた。次は世界選手権のメダルを持って帰ってきます。」と力強く語った。



世界選手権代表権獲得
フリースタイル 125kg級
2等陸曹 山本 泰輝





世界選手権代表権獲得
グレコローマン 87kg 級
2等陸曹 **阪部 創**

《グレコローマン 87kg 級》

阪部創（さかべそう）2等陸曹は、ノルディック方式の予選を1勝1敗の2位で通過すると準決勝は80のテクニカルスペリオリティ 勝ちで決勝進出。決勝戦では予選リーグで敗れた公益財団法人滋賀県スポーツ協会の藤井選手との対戦となった。序盤からバックを取り豪快な投げ技等でポイントを重ね、圧倒的な強さでテクニカルスペリオリティ勝ちで優勝し、世界選手権代表権を獲得した。試合後、阪部2曹は「もっと自分からプレッシャーをかけて相手を動かしたかった。（世界選手権まで）時間はあるので体の使い方を強化して自分がどれだけできるのか試したい。」と今後の抱負を語った。

《女子レスリング 53kg 級》

村山春菜（むらやまはるな）3等陸尉は、初戦を5-1のポイント勝ち、準決勝を5-0のポイント勝ちで決勝進出、決勝戦では第2ピリオド終盤に片足タックルから2点を獲得して、3-1のポイント勝ちで2大会連続の優勝を決めた。

プレーオフでは育英大学の清岡選手との対戦となった。均衡した試合展開の中、第2ピリオド終盤にバックを取り2点を獲得して、4-1のポイント勝ちで世界選手権の代表権を獲得した。試合後、村山3尉は「世界選手権は優勝を狙いたい。海外の選手は伸びているし、動画で試合を観れる時代で研究もされていると感じたので、より一層自分の技がかかるように楽しんできたい。」と今後の抱負を語った。



世界選手権代表権獲得
女子レスリング 53kg 級
3等陸尉 **村山 春菜**



世界選手権代表権獲得
女子レスリング 57kg 級
3等陸曹 **徳原 姫花**

《女子レスリング 57kg 級》

徳原姫花（とくはらひめか）3等陸曹は初戦、準決勝とポイント勝ちで勝ち進み、決勝戦は南條早映（なんじょうさえ）2等陸曹との同門対決となった。決勝は互角の戦いとなったが、徳原3曹が6-5の僅差で勝利し初優勝を飾った。

プレーオフでは KeePer 技研(株)の男網選手と対戦し、力強さと軽快な動きでバックからポイントを重ね7-1で勝利し、世界選手権の代表権を獲得した。

試合後、徳原3曹は「57kgに階級を下げたが、体重調整が順調にでき持ち味のパワーを生かし優勝することができた。初の世界選手権では、自分のレスリングを世界に見せ、大技を積極的にかけていけるよう練習していきたい。」と語った。

《女子レスリング 72kg 級》

古市雅子（ふるいちまさこ）2等陸尉は、ノルディック方式で実施された予選を1勝1敗の2位で通過すると準決勝を5-2のポイント勝ちで決勝進出。決勝戦では予選リーグで敗れた安部学院OGの茂呂選手との対戦となった。第1ピリオドは果敢に攻め相手選手のパッシブにより1ポイントを取った。第2ピリオドでは2度のアクティビティタイムで相手に2ポイントを与えてしまう。しかし、終了間際に相手選手を返し2ポイントを取り逆転。そのままフォールで優勝を決め、世界選手権代表権を獲得した。試合後、古市2尉は「自分の力で勝って代表になることが目標だった。できることをやった。」と大逆転劇を振り返った。



世界選手権代表権獲得
女子レスリング 72kg 級
2等陸尉 **古市 雅子**

総 合 成 績 (メダリストのみ)

フリースタイルレスリング

優 勝	86kg	石黒 隼士	3等陸尉
優 勝	125kg	山本 泰輝	2等陸曹
準優勝	74kg	佐藤 匡記	2等陸曹
準優勝	92kg	内田 貴斗	陸士長
準優勝	125kg	伊藤飛未来	2等陸曹
第3位	57kg	新井 陸人	3等陸尉
第3位	65kg	諏訪間新之亮	3等陸尉

グレコローマンレスリング

優 勝	87kg	阪部 創	2等陸曹
準優勝	60kg	塩谷 優	2等陸曹
準優勝	72kg	北條 良真	2等陸曹
準優勝	77kg	櫻庭 功大	3等陸尉
準優勝	97kg	鶴田 峻大	3等陸尉
準優勝	130kg	奥村 総太	2等陸曹
第3位	67kg	清水 賢亮	2等陸曹
第3位	67kg	矢部 晴翔	2等陸曹
第3位	72kg	永松 麗	陸士長

女子レスリング

優 勝	53kg	村山 春菜	3等陸尉
優 勝	57kg	徳原 姫花	3等陸曹
優 勝	72kg	古市 雅子	2等陸尉
準優勝	55kg	今井 佑海	2等陸曹
準優勝	57kg	南條 早映	2等陸曹
第3位	62kg	稲垣 柚香	2等陸曹
第3位	62kg	榎本 美鈴	陸士長
第3位	76kg	長島 水城	陸士長

獲得数

金：6 銀：10 銅：8